

医薬品企業 22 社が非感染性疾患の対策に取り組む初のグローバルイニシアティブを開始

- グローバルかつマルチステイクホルダーによるイニシアティブ「Access Accelerated（アクセス・アクセレレイテッド）」を世界銀行及び国際対がん連合と共同で開始
- 当面 3 年間のコミットメントでは、低所得国や低中所得国において持続可能なプログラムを開発し、展開する予定
- 合計 5,000 万米ドルの共同イニシアティブと加盟個社のプログラム拡大を通じて非感染性疾患に取り組む

2017 年 1 月 18 日-大手医薬品企業 22 社は、スイス・ダボスで開催されている世界経済フォーラムにおいて、低所得国や低中所得国における非感染性疾患の予防とケアを推進するグローバルなイニシアティブ「Access Accelerated（アクセス・アクセレレイテッド）」を立ち上げました。

非感染性疾患による死亡件数のおよそ 80%が発生している低所得国や低中所得国を始め、非感染性疾患は極めて危機的状況に陥っています。Access Accelerated では、世界銀行グループと国際対がん連合（UICC: Union for International Cancer Control）と連携し、2030 年までに非感染性疾患による早期死亡件数の 3 分の 1 を減少させるという国連の持続可能な開発目標（SDG : Sustainable Development Goal）の達成に向けて取り組むことを目標としてまいります。

ファイザーの最高経営責任者であり国際製薬団体連合会（IFPMA）の会長でもあるイアン・リード（Ian Read）は、本イニシアティブを代表して「Access Accelerated のパートナーのコミットメントと専門性により、誰もが予防可能、治療可能な疾患によって早すぎる死を遂げることがなくなるという共通のビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。」と述べました。また、「もし低所得国や低中所得国における非感染性疾患拡大の流れに改善がみられなければ、世界中で保健分野において築きあげた進歩を後退させることになりかねません。私たちが目標を達成するためには、新しいパートナーシップを推進し、速やかに学び、各国が非感染性疾患に対処できる資源と知識を向上させることが必要です。」とも述べています。

企業が発展途上国における非感染性疾患ケアを発展させるために 100 件以上のプログラムを通じて長期的に投資していくことに加え、Access Accelerated は既存の取り組みにおいて説明責任と透明性をさらに高めるとともに、非感染性疾患の予防、治療及びケアへのアクセスにおける障壁に対処することに重点を置いてまいります。そして、ボストン大学からの外部専門家の支援を得て、進捗確認、効果測定、継続的な報告のための枠組みを構築し、これらの取り組みを評価してまいります。

また本イニシアティブでは世界銀行グループと連携し、資金調達、規制及びケア提供に関する国家レベルの障壁に対処するための解決策を探してまいります。さらに、世界銀行グループは多くの国で非感染性疾患の成果を高めるために、まずはアフリカのある国を選択してプライマリ・ケアの試験的事業を行ってまいります。

世界銀行グループの保健・栄養・人口問題担当シニア・ディレクターのティム・エバンス（Tim Evans）は、「発展途上国で非感染性疾患が急増すると、我々の目標である世界の最貧国に住む人々の健康改善やユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に深刻な脅威をもたらします。」また、「非感染性疾患の急増に適切に立ち向かっていくために、政府機関、市民社会、

民間企業、国際的パートナーと連携した取り組みを講じてまいります。この新しい取り組みは、重要な役割を担う人々や組織にとって、特にプライマリ・ヘルスケアに重点を置いた非感染性疾患に対する効果的なケアを提供する革新的な方法を検証し、拡大していく機会となります。」と、述べています。

また本イニシアティブでは、がんを始めとする主要な非感染性疾患それぞれに特化した組織とパートナーシップを構築していく予定です。その一環として本イニシアティブは、世界経済フォーラムで同様に設立された国際対がん連合（UICC）のイニシアティブ「C/Can 2025: City Cancer Challenge (C/Can 2025)」の創立パートナーとなります。C/Can 2025 では 2017 年、100 万人以上の人口を有する世界の都市とがん治療とケア向上のために連携し、効果的かつ持続可能ながん治療提供の開発のために国際的な支援が必要な低所得国や低中所得国における選定都市と協働してまいります。最初の選定都市には、コロンビア・カリ、パラグアイ・アスンシオン、ミャンマー・ヤンゴンが指定され、その他の都市は本年中に発表されます。

国際対がん連合の最高経営責任者であるケアリー・アダム（Cary Adams）は次のように述べています。「C/Can2025 では、すべての都市が、がん起因のリスク増に対処していくことができる未来を実現すべく努めてまいります。そして低所得国や低中所得国の都市においては、がんのリスクを抱える患者さんやがんと診断された患者さんに対して、国際社会が効果的な診断や治療の提供を支援することができると考えています。Access Accelerated と連携することで、私たちは世界のがん患者さんの生存率を向上させることができると考えています。」

その他詳細は accessaccelerated.org でご確認ください。

アクセス・アクセレレイテッド（Access Accelerated）

Access Accelerated は、非感染性疾患ケアの改善に重点を置いたマルチステイクホルダーによる初めてのイニシアティブです。20 社以上の医薬品企業で構成されるほか、世界銀行や国際対がん連合（UICC）などのパートナーと連携し、低所得国や低中所得国における非感染性疾患の医薬品アクセスを巡る様々な障壁の克服を支援していきます。Access Accelerated は、マルチステイクホルダーによる対話を支援し、非感染性疾患の予防、診断、治療を改善するために現地での取り組みを実施してまいります。

加盟企業及び団体は、アステラス製薬、アルミラル、イーライリリー、エーザイ、MSD、欧州製薬団体連合会（EFPIA）、グラクソ・スミスクライン、国際製薬団体連合会（IFPMA）、サノフィ、塩野義製薬、ジョンソン・エンド・ジョンソン、大日本住友製薬、セルジーン、第一三共、武田薬品工業、中外製薬、日本製薬工業協会（JPMA）、ノバルティス、バイエル、ファイザー、ブリストル・マイヤーズ スクイブ、米国研究製薬工業協会（PhRMA）、メナリーニ、メルクセローノ、ロシュ、ユーシービーとなります。本イニシアティブ事務局は国際製薬団体連合会（IFPMA）が担ってまいります。

非感染性疾患（Non-Communicable Diseases: NCDs）

がん、心臓血管病、慢性呼吸器疾患、糖尿病および精神疾患を含む非感染性疾患は世界の主要な死因であり、既に感染症と闘っている世界の国・地域において二重に負担を強いる要因となっています。